

下水道事業の見直しは

胡子 勝弘 議員

答 コスト縮減・支援策の検討



下水・上水道工事を一体的に

胡子勝弘 下水道計画見直しの年です。9月の委員会では家屋間境界距離を決め、区域外は合併浄化槽で対応することでした。その区域が決定していればお示しください。

市長 今回の見直しは、将来の人口や家屋数などの予測を踏まえ、集合処

理と個別処理方式から維持管理など総費用で経済比較して、家屋間境界距離を判定し、下水道整備区域を再評価するものです。

見直して個別処理となる区域については、合併浄化槽を整備する。

個人負担に不公平が生じないよう、支援措置や下水道整備のコスト削減策についても検討していく。

胡子勝弘 下水・上水道の配管工事で同じ場所を2度も掘り返しているが、一体的に工事できないか。

市長 下水道埋設の一日当たりの施工延長は、水道管埋設の4分の1程度です。同時施工となると

回答でしたが、その後の結果をお聴きします。

市長 放送が聞こえにくいという市民からの要請に対しては、職員が出向き、屋外局のスピーカへの向きや音量の調整をし、難聴地区の解消に努めている。



▲ 下水道配管工事（江田島町切串）

胡子勝弘 住民から放送が聞き取れないという声があり、現在検討中との

下水道管理後に水道管埋設となるため施工延長が短くなります。そのため工期が延び、周辺には長期間不便をかけることになるので、2度掘の工法を採用しております。なお、道路付近の広い区間では、同じ箇所を2度掘しないよう工事を実施します。

総合計画はいかに

山本 一也 議員

答 実現に取り組む



山本 現江田島市総合計画に沿った町づくりは、

市長 現在の総合計画に掲げた将来像の実現に向けて、全力で取り組みま

す。

山本 これからの同和行政の方向性は、

市長 誰もが住んでよかったと思える町づくりを実施していくため、地域間格差の解消に努め、確かな人権意識を基盤とし、人権を尊重した人間性豊かな人づくりが大切であり、本市における人権施策の基本となる「江田島市人権教育啓発指針」を策定し、様々な啓発活動を行います。

教育長 不登校・いじめ・問題行動については、各学校に毎月報告を課しており、課題意識を持ち実態把握に努めているところですが、課題のある児童・生徒に対し、本人・保護者等の連携はもちろん、カウンセラー、地域関係諸機関にも協力を仰ぎ、課題解決に向け、引き続き各学校・家庭・地域が連携した教育活動を進めていきます。

山本 不登校やいじめ等の状況は、

すべての児童・生徒に、生涯にわたる人間形成の基礎を培うため知育・徳育・体育のバランスの取れた教育を推進しているところです。



▲ 元気な中学生たち（大柿中学校）

児童・生徒の進路保障は

山本 児童・生徒の進路保障については、

教育長 教育委員会は、

地場産業の振興は

石下 洋子 議員

答 農業・漁業の振興を図る



石下 市長は地場産業に力を入れるということですが、現在までのような施策をしてきたか。その効果は、今後どのような対策を考えておられるか。

棄地が増えているのに農地造成が必要と思われるのか。

市長 当該地区及び周辺には、地下水脈は確認できなかつた。タガメ等希少種の水生生物の生息が認められたため、事業区域から除外することの提言があった。

調査の結果を踏まえ慎重に検討したい。

市長 平成18年3月末214人、平成20年3月末257人

石下 増加の原因は、

市長 ひとり暮らしや高齢者のみの世帯の増加、介護者の高齢化、早めに申し込むなど。

石下 対策については、

市長 居宅サービスの充



▲ カキ育成場（江田島湾）

石下 深江地区の農地造成の調査結果は、耕作放棄

市長 農業では地域プロジェクトを活用して、担い手、農業法人の育成、農地の流動化、耕作放棄地の解消に努める。漁業では、経営安定のため融資資金の利子補給や漁港の整備などの対策を講じてきた。今後も融資活動の支援をしたい。

深江地区の農地造成について

市長 地域の活性化のため

石下 行政と住民の協働で市政を進めたいとのことだが、市民の協力を得るためにどういうことをされるのか。

市長 地域サービスの充

実を図る。安心な住まいの獲得という観点から施設整備を検討する。